

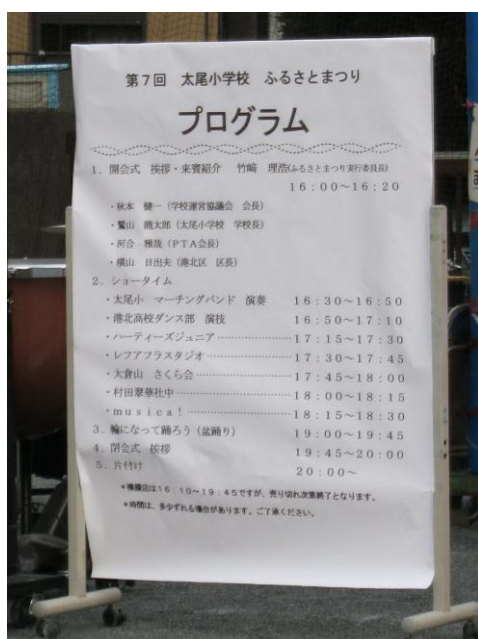
1413 多くの地域の方々が集まり『太尾小学校ふるさと祭り』が開催されました

第7回『太尾小学校ふるさとまつり』が9月5日(土)に太尾小学校校庭にて開催されました。

太尾小学校では、平成21年度より学校運営協議会を設置し、学校・保護者・地域が手を取り合った学校運営を進めてきています。子どもたちと地域にとって、この太尾小学校が『心のふるさと』となるように願って進められ、ふるさと祭りも開催されています。

当日は、全国大会にて4年連続金賞を受賞している、マーチングバンドによる入場行進で幕を開け、港北高校ダンス部の演技や皆で輪になって盆踊りを踊ったほか、各町内会やPTAに加え、横浜国立大学や地元の金融機関も模擬店を出店し、まさに地域が一つになって子どもから大人までが顔の見える関係づくりをしながら、秋口のひとときを楽しんでいました。

また、このお祭りは防災の取組も行っており、当日は防災用設備を使用した調理を行うなど、地域防災の観点からも貴重な機会となっています。



【当日のプログラム】

小学生だけでなく、隣接する港北高校のダンス部による演技や地域の方々によるステージショーが実施され、会場は大いに盛り上がりました。

19時から、盆踊りを実施し子どもから大人までが一つの輪になって楽しむ様子も見られました。



太尾小学校マーチングバンドによる入場行進と演奏



代表生徒による活動紹介と当日の演奏曲目説明



【秋本学校運営協議会会長のご挨拶】



【鷺山校長によるご挨拶】



【多くの方々に賑わう様子】

それぞれの模擬店には長蛇の列ができ、会場全体が盛り上がっていました。

第7回 太尾小ふるさとまつりを終えて

～まちづくりと防災に結び付く「太尾小学校ふるさとまつり」

太尾小学校長 鷲山龍太郎

ふるさと祭りを実行して下さったすべての皆様、ご協力いただきましたすべて皆様、ご来場いただきましたすべての皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

第七回のふるさと祭りは、「奇蹟」のように、悪天候が続く中、この日だけは一週間前から、不動の、「天気の良い日」でした。皆さんの熱い思いがこの日に雨雲を寄せつけなかったように思います。そして、学校を拠点に、このよう盛大な祭りができることは、これも大きな「奇蹟」だと実感します。

今年の祭りは、来場者も過去最大と見られ、ますます盛大に、そして、様々な課題解決の結果、バージョンアップした部分も多く、大成功でした。

太尾小学校学区は、東横線開通後に発展してきた住宅街と、近年、工場跡地などに建設された新しいマンション群に住む人々により構成されている地域です。新しいマンションに住む子どもたちも多く、どの子にも、町のお祭りや盆踊りに参加できるようにしてあげたい、という学校運営協議会の願いから生まれてきました。

今回は、学校、PTA、地域の連携も一層強まり、みんなで心ひとつに盛り上げた祭りとなりました。

自治会町内会、関係団体のみなさんがたくさんの模擬店を出していただき、ステージも

華々しく地域の文化を表現していました。盆踊りも盛り上がりました。

また、かねてから秋本健一学校運営協議会会長が言われていたように、これだけ地域の力を結集して、一つの行事ができること。そして、600人のスタッフで、2～3000人も
の来場者に食べ物を提供することは、地域の防災力を向上させているものに違いありません。

本校は、「学校を拠点としたまちづくり」の理念に基づいた地域連携と防災の推進を学校の経営方針の一つにしています。

「学校を拠点とした、みんながふるさとと感じられるまちづくり」その夢が奇蹟のように、形となって現れた一日でした。

ふるさとまつりの感想

太尾小マーチングバンド 6年 川内理央

マーチングバンドとして、ふるさと祭りに出演させていただき、ありがとうございました。

地域の方々に、今年ドリル演奏曲をひろうするのは初めてだったので、とてもきん張しました。大会とちがって、部員みんなとの距離、お客さんとの距離が本当に近かったので、大会とはまたちがう感覚を味わうことができました。

演奏は、練習通り上手くいった所と、そうではないところがありました。前回のジャパンカップよりも、上手くいった所があったので、良かったです。ふるさと祭りでは、立ったままでの演奏でしたし、部員みんなが近かったので、演奏に集中でき、みんなで音を合わせる
ことが出来ました。でも、大会は、動きがあるので、動いていてもすてきな演奏ができるように頑張って練習したいです。

これからも、すばらしい演奏・演技ができるように頑張りますので、応援よろしく
願います。